

系列的手続き記憶の再生におけるエラーの生起傾向に関する分析

Analysis on Occurrence Tendency of Error in Recalling Sequential Procedure

学籍番号：201621635

氏名：村松 陽太郎

Yotaro MURAMATSU

私たちはATMや券売機などの電子機器を操作する際、ボタンの操作などの動作を複数組み合わせ、目的を達成している。このような手続きは、繰り返し行うことにより記憶され、無意識のうちに実行できるようになる。本研究の目的は、系列の手続き記憶の再生におけるエラーの特徴とその生起傾向や生起するタイミングなどの分析を通しどのようなエラーが生起されるのか明らかとした上で、エラー数を減らす手がかりを得ることである。そのため、実験参加者に4つのボタン押しをセットとした5セットからなるボタン押し系列を4個学習させた上で、再生を求めるテストを行った。観測されたエラーは、その特徴により分類を行った。その結果、ある系列の再生時において、本来再生すべきセットとは異なるセットをそっくりそのまま再生してしまうというエラーが観測された。このエラーについてさらに詳しく検討を行ったところ、系列の再生においては、何番目のセットを実行するかという、セットの実行段階に関する情報が重要な役割を担うことが示唆された。

研究指導教員：三河 正彦

副研究指導教員：藤澤 誠